

# 春季善行表彰並びに特別善行表彰式を開催



平成二十八年度春季善行・特別善行表彰式を、五月十四日(土)午後一時三十分から明治神宮参集殿において、多数のご来賓と本会役員の出席の下、盛大に開催した。各地域において、明るく住みよい社会づくりのために、長い間活動をされ、多大な貢献をされた個人や団体を表彰し、その功績を称え、感謝するとともに、これらの方々を広く社会に紹介し、一層の善行活動の推進と善行精神の普及高揚を図るものであり、今回の表彰は、昭和二十六年に善行表彰が開始されてから、六十六回目である。今回の表彰では、六十一名の個人と三十九の団体計百が表彰された。また、特別善行表彰は、受賞後も引き続き相当期間、善行活動を継続している方々を対象にした表彰であり、その善行活動の実績により、善行金章と同銀章がある。今回の受賞者は、善行金章が二十名、同銀章が九十六名計百十六であった。表彰式は、国歌斉唱の後、相澤副会長の「開式のことば」で始まり、続いて、藤田会長が主催者としての挨拶を行った。次いで、善行表彰受賞者選考委員会を代表して、穴井頼壽選考委員長から選考経過報告が行われた後、受賞者の表彰に進んだ。表彰は、春季善行表彰から始まり、司会者が受賞者の名前を読み上げる中、各受賞者は順次

ステージに上がり、藤田会長から、表彰状と善行章が授与され、得賞歌の流れる中参加者の盛大な拍手で祝福された。続いて、特別善行表彰金章・銀章の表彰に移り、善行表彰と同様、順次藤田会長から各受賞者に対し、表彰状と善行金章又は同銀章が授与され、参加者の拍手で祝福された。続いて、来賓の祝辞に移り、最初に、加藤勝信内閣府特命担当大臣の祝辞(代読)、次いで、在日米海軍極東通信隊司令官 マシュー・ウエルシュ大佐、前年度春季善行表彰の田代晴子氏より祝辞が述べられ、祝電が披露された後、本年度の春季善行表彰受賞者を代表して江尻優希氏(板橋区)と特別善行表彰金章受賞者の寺門栄氏がお礼の言葉を述べられた。次いで、江戸川区立第二葛西中学校吹奏楽部(指揮：眞部先生)による祝典音楽演奏が行われ、会場は表彰式の緊張した雰囲気から和やかなものへと変わった。続いて、音楽文化協会森川正子氏による「日本善行会」の紹介と歌唱指導が行われ、力強い歌声が、会場いっぱいに響き渡った。次いで、昨年秋季善行表彰受賞者の厩橋CHINDON倶楽部による祝芸披露があり、会場は一層和やかな空気に包まれた。最後に、勝野副会長による「閉式のことば」があり、式は滞りなく終了した。



一般社団法人  
日本善行会  
〒100-0006  
東京都千代田区有楽町  
2-10-1 東京交通会館内  
TEL (03) 3212-6996  
FAX (03) 3212-6998  
URL: http://www.zenkoukai.or.jp  
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行  
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を  
照らすともしび。

## 祝辞

内閣府特命担当大臣  
加藤 勝信

一般社団法人日本善行会「平成二十八年度春季善行・特別善行表彰式」に際し、一言ご挨拶を申し上げます。この度、栄えある善行表彰をお受けになった皆様にご心からお祝いを申し上げます。皆様は、これまで、様々な分野・地域において、公共生活への貢献を始め、事故防止、環境美化、青少年指導、社会福祉、自然と文化財愛護、防犯、人命救助、国際貢献などの活動に積極的に取り組んでこられました。皆様の善意と思いやりにあふれた活動は、全ての人の

模範となるものであり、地域の人々を励ます力となつて、活力に満ちた明るい社会づくりに大いに貢献するものであります。これまでの皆様の活動に、心から感謝申し上げます。また、この表彰事業を主催される一般社団法人日本善行会は、長年にわたり、善行の表彰、善行精神の普及及び善行の実践に努めてこられました。関係の皆様のご尽力に、深く敬意を表します。さて、我が国の将来を担う青少年は、家族にとつて

## 式辞

一般社団法人  
日本善行会  
会長 藤田 耕三



本日ここに、内閣府特命担当大臣、更に在日米軍代表の方々をはじめとする、ご来賓各位並びに関係者多数のご出席をいただき、平成二十八年度春季善行表彰式並びに特別善行表彰式を執り行うに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。このたび、受賞を受けられます皆様は、北は北海道、南は沖縄県までに及んでおり、地域社会において、勇気をもって愛の手を差し延べられ、善行を実践された方々であります。

この中には国境を越えて日本の地域社会のために善行を行って下さった外国の方々、八名と八団体、更に、既に善行表彰を受賞され、その後も長年にわたり善行を継続し、本日の特別善行金章・銀章表彰を受けられる方々がおられます。受賞者の皆様に心からお祝いを申し上げますと共に、深く敬意を表するしだいであります。日本善行会は、昭和十二年に設立以来、本年で七十九周年を迎えるとともに、春季善行表彰は、本年度で六十六回、特別善行表彰は二十二回となりました。また、本会には全国に六十八の支部があり、三千五百名余の会員の方々が「善行は社会を明るくする」とも「善行は社会を明るくする」ともいいます。

も、社会にとつても大きな可能性を秘めたかけがえのない存在です。政府では、本年二月に取りまとめた「子供・若者育成支援推進大綱」等に基づき、全ての子供、若者が健やかに成長し、自立・活躍できる社会を目指し、環境を整備し、支援していくことを最重要課題の一つとしています。青少年の育成支援のためには、最も身近な存在である、家庭・学校、地域社会などが連携して取り組むことが不可欠であり、国民全体で青少年の成長を支え、育成していくことは極めて重要であります。青少年が夢と希望を持って、たくましく成長していける社会を築くため、引き続き、内閣府

力をお寄せ、青少年の非行防止や健全育成活動、社会福祉施設訪問、交通安全運動、環境美化運動等の善行実践活動と善行精神の普及及び社会の実現のために、活動を続けております。本日、受賞を受けられる皆様も、受賞を契機に、更なる善行を重ねられますよう念願いたしております。日本善行会の精神は、自分の立場や考えに固執せず、思いやりの精神で人に接し、明るく住みよい社会を建設していくというところにあります。人を信頼し、その心を思いやり、尊重して、その人を育てていこうという温かい思いやりです。皆様の思いやりと奉仕の精神に支えられた一つの善行が積み重なり、継続することによって長い間には大きな輪となって広がり、日本を、ひいては世界を明るく住みよい社会とする原動力になるものと確信しております。本日列席のご来賓並びに関係者の皆様には、この頼もしい受賞者の皆様に対し、今後とも温かく見守り、応援していただけますよう、お願い申し上げます。終わりに、本日受賞されます皆様、並びにご列席頂きました方々のご健勝と、益々のご活躍をお祈り申し上げます。私のご挨拶と致します。



(代読)内閣府政策統括官  
(共生社会政策担当) 付  
調査官 大熊 直人

祝電を寄せられた方々  
(順不同敬称略)  
岡山県知事 伊原木隆太  
小平市長 小林 正則  
一般社団法人日本善行会  
監事・福島県支部長 山崎 久夫  
一般社団法人日本善行会  
大阪府支部名誉会長 岩井 喜一

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの賛助金により運営されております。広く会員を募集しております。